

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和4年 6月 28日

兵庫県知事 殿

提出者

住所 兵庫県赤穂市中広字東沖1603番1

氏名 太陽鋳工株式会社赤穂工場
取締役工場長 田中 慎吾

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 0791-43-2250

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	太陽鋳工株式会社 赤穂工場
事業場の所在地	兵庫県赤穂市中広字東沖1603番1
計画期間	令和4年4月1日 ～ 令和5年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項 別紙1～4のとおり	
①事業の種類	2213 鉄鋼業・フェロアロイ製造業 1629 化学工業・その他の無機化学工業製品製造業
②事業の規模	製品出荷額 1,599,887万円(令和3年度実績)
③従業員数	93名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項	別紙1～4のとおり
(管理体制図) 別紙3参照	

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項		別紙1～4のとおり
①現状	【前年度（平成 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	排出量	t
	(これまでに実施した取組)	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	排出量	t
	(今後実施する予定の取組)	

産業廃棄物の分別に関する事項		別紙1～4のとおり
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)	
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)	

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

別紙1～4のとおり

①現状	【前年度（平成 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

別紙1～4のとおり

①現状	【前年度（平成 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項 **別紙1～4のとおり**

①現状	【前年度（平成 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項 **別紙1～4のとおり**

①現状	【前年度（平成 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】	別紙1～4のとおり	
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙1(廃棄物処理法-産業廃棄物処理計画書)

現状：前年度(令和3年度)実績量

計画：今年度(令和4年度)計画量

単位:トン/年

産業廃棄物の種類	排出抑制に関する事項		自ら行う再生利用に関する事項		自ら行う中間処理に関する事項				自ら行う埋立処分等に関する事項		処理委託に関する事項										
	排出量 (前年度実績値の①)		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量 (前年度実績値の②+⑧)		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量 (前年度実績値の⑤)		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量 (前年度実績値の⑦)		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量 (前年度実績値の③+⑨)		全処理委託量 (前年度実績値の⑩)		優良認定処理業者への処理委託量 (前年度実績値の⑪)		再生利用業者への処理委託量 (前年度実績値の⑫)		認定熱回収業者への処理委託量 (前年度実績値の⑬)		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 (前年度実績値の⑭)		
	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	
0100燃え殻																					
0200汚泥	37076	37000	0	0	0	0	33776	34000	0	0	3301	4000	2949	3000	3219	3800	0	0	0	0	
0300廃油																					
0400廃酸																					
0500廃アルカリ																					
0600廃プラスチック類	74	70	0	0	0	0	0	0	0	0	74	75	55	75	28	40	0	0	30	35	
0700紙くず																					
0800木くず	71	60	0	0	0	0	0	0	0	0	71	70	71	70	71	70	0	0	0	0	
0900繊維くず																					
1000動植物性残渣																					
1100ゴムくず																					
1200金属くず	276	300	276	300	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
1300ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	287	500	0	0	0	0	0	0	0	0	287	500	287	450	22	50	0	0	0	0	
1400鋸さい	3190	3000	824	800	0	0	0	0	0	0	2366	2500	1253	0	2366	2500	0	0	0	0	
1500がれき類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
1600動物のふん尿																					
1700動物の死体																					
1800ばいじん	356	380	356	380	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計	41330	41310	1456	1480	0	0	33776	34000	0	0	6099	7145	4615	3595	5706	6460	0	0	30	35	

別紙2（廃棄物処理法-産業廃棄物処理計画書）

1 当該事業場において行っている事業に関する事項

①事業の種類	2213 鉄鋼業・フェロアロイ製造業 1629 化学工業・その他の無機化学工業製品製造業
②事業の規模	製品出荷額 1,599,887万円(令和3年度実績)
③従業員数	93名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙4参照

2 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項（管理体制図等，別紙を参照）

別紙3参照

3 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組) 自社での再利用及び売却による産業廃棄物の減量化を推進した。
②計画	(今後実施する予定の取組) 一部の産業廃棄物について、自社での再利用及び有価物としての売却を推進する。 工程管理の最適化による廃棄物発生量の減量化を検討する。

4 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 工場内の保管場所で「汚泥」、「廃プラスチック類」「銚さい」、「レンガ・ガラス・陶磁器くず」、「金属くず」、「木くず」に分別し、「委託中間処理」、「最終処分」、「再生利用」に分類し保管している。
②計画	(今後、分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 特になし

5 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組) 発生する金属くずの再利用及び売却を実施している。 発生する鉱さいの再利用及び売却を実施している。
②計画	(今後実施する予定の取組) 発生する金属くずの再利用及び売却を継続して行う。 発生する鉱さいの再利用及び売却を継続して行う。

6 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組) 特になし
②計画	(今後実施する予定の取組) 特になし

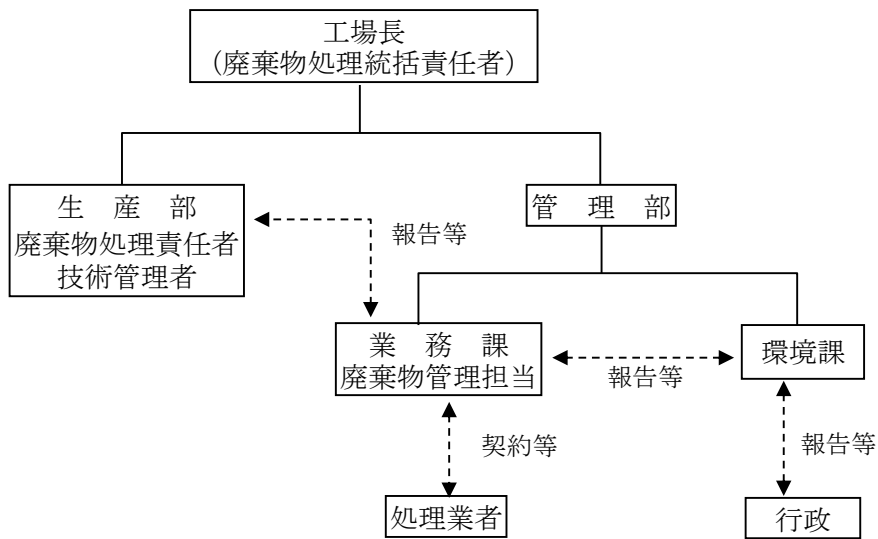
7 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組) 特になし
②計画	(今後実施する予定の取組) 特になし

8 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組) 可能な限り排出廃棄物の再資源化を心がけた。
②計画	(今後実施する予定の取組) 引き続き排出廃棄物の再資源化を模索する。

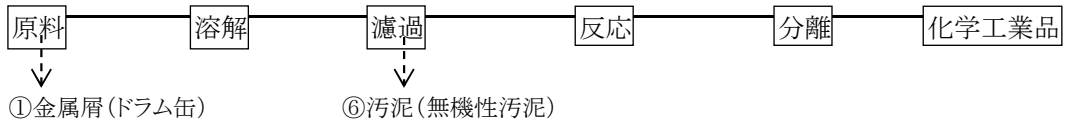
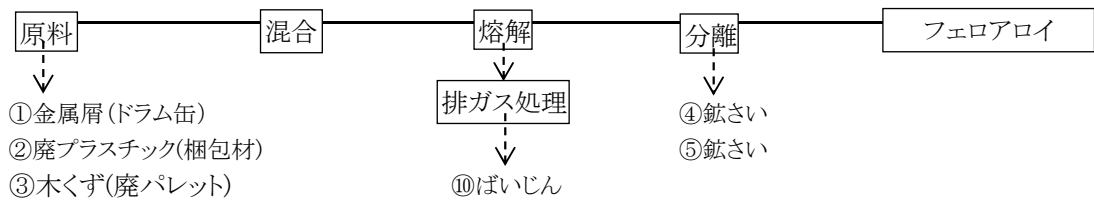
別紙3
管理体制図



統括責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物処理方針の策定 ・廃棄物処理に関する各種事項の決定、承認
生産部	<ul style="list-style-type: none"> ・産業廃棄物処理施設の運転 ・維持管理状況の把握
業務課	<ul style="list-style-type: none"> ・処理業者、再生利用業者の調査、選定及び管理 ・委託契約の締結 ・産業廃棄物管理表の交付、管理
環境課	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物処理計画の作成 ・監督官庁への各種報告 ・社員に対する教育・啓発

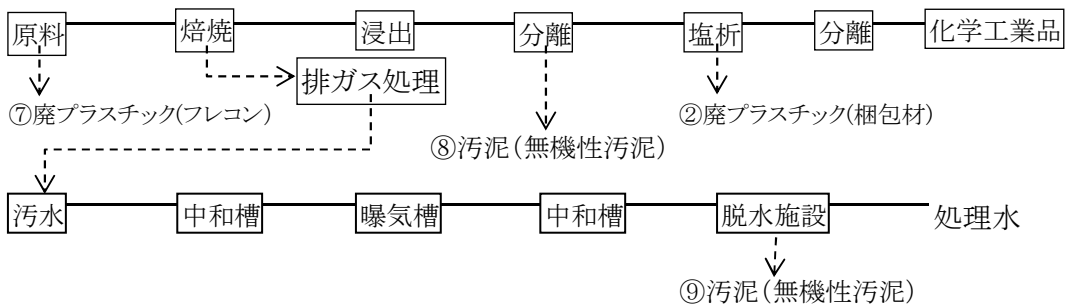
別紙4

当該事業場において現に行なっている事業に関する事項



別紙4

- ② 廃プラスチック (梱包材)
- ③ 木くず (廃パレット)



廃棄物

処理・処分

⇒ 廃棄物処理の流れ 委託処理部分の範囲

